

## 平成26年度 事業報告書

### (事業の概要)

#### 1 研究助成事業

(計 画) 薬力学の研究に従事する者に対し研究費を助成する(1件30万円以内、1件予定)。毎年、7月から12月頃までホームページ上に募集要領を広く公開し、研究助成金交付対象者の公募を行う。

選考方法は、審査委員会を開催し、当該委員会で公募書類を審査・選考のうえ、選考結果を理事会に報告する。理事会は当該報告を受けて、助成対象者に対し助成金を交付する。

(内 容) 今年度は、募集要領を平成26年7月10日から平成26年11月28日までホームページで公開し、他に医学薬学系大学にも個別に送付した。応募者は9名であった。

審査委員会を平成26年12月15日に開催し、公募書類を審議・選考して理事会に助成候補者の推薦報告を行った。

当該報告を受け平成27年1月28日に理事会が行われ、その結果、埼玉医科大学医学部生化学講師 魚住 尚紀氏、研究課題は「To11-like 受容体活性化の新規機序提唱とその細胞生物学的検証」及び東京医科歯科大学医学部附属病院腎泌尿器外科医員中山貴之氏、研究課題は「ビスホスホネートによる泌尿器癌治療抵抗性の克服」に対し研究助成金として各30万円を交付することを決定。平成27年1月30日に研究助成金を授与。

なお審査は、大塚正徳審査委員長(東京医科歯科大学名誉教授)、村越隆之委員(埼玉医科大学医学部教授)、千葉元承委員(元鶴見大学歯学部教授)、東 洋委員(東京医科歯科大学名誉教授)によって行われた。

#### 2 学術講演会等の開催及び助成事業

(計 画) 薬力学に関する学術講演会、研究討論会を開催し、これらの事業に対して助成する。

薬力学に関するテーマを定め、当該テーマに則った講演を年1回開催する。講演会は夕方に開始し、開催時間は1時間半程度であり、受講者は100人程度を予定している。開催場所については、一般の方が来場しやすい場所を選定する。

また、時宜を得た学術研究のテーマなどに関する講演会及び研究討論会への助成を行う場合もある。

(内 容) 今年度は学術講演会を平成27年1月28日(火)17時半から19時まで東京医科歯科大学歯学部特別講堂において開催した。内容は、関矢一郎氏(東京医科歯科大学再生医療研究センター教授)による特別講演「滑膜幹細胞による軟骨・半月板の再生医療」及び坂井 敦氏(日本医科大学大学院医学研究科薬理学分野講師)による研究助成受賞講演「神経障害性疼痛に対する治療標的としてのマイクロ RNA の可能性」で、参加人数は約50名、そのうち約30名は学外からの参加者であった。参加費は無料。

#### 3 献体業務助成事業

(計 画) 薬力学の進歩発展のため、医学教育及びこれらに関連する献体業務に対して助成する。

この助成は、医学教育に欠かせない人体解剖実習に必要な献体業務への支援であり、医療人教育に貢献している。

さらに、不特定多数の利益(健康増進と医療内容の向上)の増進に寄与し、広く人類

の福祉への貢献につながる事業である。

助成の実施に関しては、東京医科歯科大学より助成内容について申請を受け、内容について審査を行ったうえで助成を決定する。

(内 容) 今年度は平成26年12月4日東京医科歯科大学に対し30万円の助成を実施するとともに、大学の献体の会事務局を通じて篤志解剖全国連合会の会費支援等を行った。

#### 4 教育助成事業

(計 画) 東京医科歯科大学大学院の教育の充実を図ることで薬力学の進歩発展に寄与するため、当該大学院に対し助成する。この助成は東京医科歯科大学大学院を支援、充実させることにより、優秀な研究者を輩出し、研究の進歩、高度化を図ることを目的とする。このことは不特定多数の利益（健康増進と医療内容の向上）の増進に寄与し、広く人類の福祉への貢献につながる。

助成の実施に関しては、東京医科歯科大学より助成内容について申請を受け、内容について審査を行ったうえで助成を決定する。

(内 容) 今年度は平成26年12月4日東京医科歯科大学に対し29万円の助成を実施した。

#### 5 学術出版助成事業

(計 画) 薬力学の進歩発展のために、医学教育、医学研究、診療の研究に関する出版物（雑誌）の刊行に対し助成する。この出版物刊行への助成を通じて、学術的知識の集成と周知を図り、医療人の育成に貢献する。このことは、不特定多数の利益（健康増進と医療内容の向上）の増進に寄与し、広く人類の福祉への貢献につながる。

また、当該出版物（雑誌）は東京医科歯科大学のホームページ上で誰でも無料で閲覧できる。さらに、広く地域医療に携わっている開業医及び勤務医に対しても同窓会組織を活用し配布していくものとする。このように広く一般に利用できることから学術の振興に貢献していくものとなる。

助成の実施に関しては、東京医科歯科大学お茶の水医学会（「お茶の水医学雑誌」発行）より助成内容について申請を受け、内容について審査を行ったうえで助成を決定する。

(内 容) 今年度は平成26年9月22日、お茶の水医学会に対し40万円の助成を行った。

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

平成27年6月  
公益財団法人薬力学研究会